東北　姥ヶ岳・秋田駒・森吉山　山スキー

記　Ｔ野

2016年12月29日～31日
メンバー：　Ｔ野　Ｉ崎　Ａ原　Ｉ島　Ｙ科

年末、東北は記録的な雪不足。出発直前でも田沢湖スキー場の積雪は10㎝、もちろん滑走不可だ。年末の予報では雪マークはついているものの大きな寒波は来そうにない。このままでは前代未聞の湯治ツアーになってしまう。直前の情報で何とか山スキーが可能なのは月山周辺と八甲田位か…。フットワークが自慢の今回のメンバーが出した答えは、初日は月山周辺、そして一応雪がありそうな森吉山，あとは乳頭か秋田駒に様子を見ながら行く，というものだった。さてさて報告です。

12/28
夜21:00に新宿を出発、途中、東武伊勢崎線の花崎駅でＩ島さんと合流して一気に寒河江ＳＡまで行って仮眠。ここは人も少なく屋根付き暖房付きでテントを張ることもなく快適に仮眠できた。

12/29　姥ヶ岳（リフト終点まで）
姥ヶ岳を目指しまずは車で志津温泉に向かう。天気予報は嬉しいことに午前中は晴れ！！ただ午後には崩れるということだ。午前中勝負なので7:45には志津の車止めを出発。さすが月山！！最初から板を履いて行ける。しばらく車道沿いを登るが途中からトレースに導かれ電線沿いの切り開きを登り、車道をショートカット。この辺りもブッシュは濃いが滑降は何とかできそうだ。登るにつれ、背後に赤見堂を中心とした朝日連峰前衛の山、左手には純白の湯殿山が望める。厳冬の山々は残雪期と比べて雪の白さが全く違い神々しささえ感じる。やがてゴーストタウンと化した姥沢に到着（9:45）。ここからは湯殿山・姥ヶ岳・月山の三山が迫力の姿を見せてくれる。この辺りはもう雪はたっぷりあってどこでも滑れそうだ。我々はここからリフト沿いを登る。ただこの頃から雲が多くなり、風も強く吹き始め、時間との競争になった。リフトの終点まで登ると、この上は強風地獄の様相で今回はここで満足することにする。まあ、事前情報から考えればここまで来られただけでも儲けものだ。

■写真上　純白に輝く厳冬の湯殿山。
■写真中　赤見堂山を中心とした朝日連峰前衛の山々
■写真下　ゴーストタウンと化した姥沢を姥ガ岳を目指して進む。

さてお楽しみの滑降！！上から見てリフト右手の沢沿いを滑るがなぜか板の滑りが悪く、パウダー！！という感じではない。吹き上げる風に向かって滑るからか、雪が重いのか・・・？？それでも下りは早い。

しばらく滑り、沢に入って風が収まるといくらか雪質は多少マシになってまあまあ楽しく滑る。あっという間にリフト乗り場まで下りて、風もなくなったので一休み。ここからは往路を滑る。薮はまだまだ濃く、ルートは制限される。しかしところどころ楽しく滑れる場所もあってこの時期としてはまずまずのツアーが楽しめた。

降りた後の楽しみは名物、「つたや旅館」の月山山菜そば！！山菜やキノコ、鶏肉などが入った鍋に冷たいそばを付けて食べるのだがこれが美味しい！！この辺りでは見逃せない逸品だ。食べているうちに雪が本降りになってきた。今日は早く下って正解だ。

さあ、腹を満たしたら今日のお宿、田沢湖高原まで遠路ドライブ。運転を全く苦にしないＩ崎さんリーダーだからこそ可能なルート選択だ。荘内地方から鳥海山の麓をかすめ、仁賀保で高速に乗って東北北部をひたすら目指す。田沢湖高原の「たつこ荘」通常1泊￥3,000のところを寝具なしでよいと言ったら子供料金の￥2,000で良いと言ってくれたそうです。交渉者はもちろんＡ原さん！！いつもアリガトウ！！まあ、価格が価格だから大した期待はしていなかったがこれが大当たり！！お風呂は、ほのかに硫黄の香りが鼻をくすぐる少し温めのお湯で長く入っていられて私好み。しかも田沢湖が望める展望風呂だ。全館床暖房でトイレもウォシュレット付き、さらに電子レンジ、厨房は自由に使えて鍋・茶碗・箸などもすべて揃ってる。ここはお奨めですよ！！遠路はるばるドライブのご褒美は、寿司とちょっと高いビーフステーキ、それに何種類かの秋田の銘酒。年末らしくていいね。

■コースタイム

志津温泉車止め（7:45）～（9:45）姥沢～（10:56）リフトトップ（11:20）～（12:20）志津温泉車止め

■写真上　リフト降り場、今日はここまで。この上は地獄です。

■写真中　さあ、荒れる前にさっさと降りよう！！

■写真下　8合目目指して森の中の車道を登る。

12/30　旧アッスルスキー場～秋田駒８合目

穏やかな朝だ。ただ、天気は明日の方が期待できそうなので今日は近場ということでこのルートを選択。下部はスキー場跡なので、雪が少なくても藪漕ぎはない、「何とかなるだろう」という算段だ。登山口の「アルパこまくさ」まで車でほんの５分だが行ってみてビックリ！！前回３月に来た時とは別世界。「こんなだったっけ？」と我が目を疑うほどだ。ブッシュの中にかろうじて繋がっている雪を頼りに登って行く。スキー場跡はだらだらとやたらに長い。「こんな長かったっけ？」まあ、これは加齢による体力の衰えで雪の量とは全く関係ないが・・・。一生懸命登ってスキー場最上部まで登るがここも前回と違って車道との合流点が判らずちょっと悩む。ブッシュをかき分けて何とか車道を見つければ、あとはそれをダラダラ登るだけだ。道を歩いている限り帰路の滑降は全く問題ないが、ただの道滑りなので、い

くらなんでもこれではつまらない。天気が思ったより穏やかなので、秘かに秋田駒の主峰、男女岳の登頂を考える。これができれば多少滑降がつまらなくても充実感はしっかり味わえるはずだ。

しかし、そうは甘くなかった。樹林の中は穏やかで登頂は充分可能だと思っていたが登るにつれ樹林が疎らになってくると強風とガスで心が折れる。８合目まで登って、小屋の中でしばらく様子を伺うが、小屋の中でも充分に寒い。ただ、この時期としては穏やかなほうで登頂は充分可能な天気だ。「でも、楽しくはないだろうな。」そんなことを考えていると、ふと前回来た時に滑った1100

m付近のブナの森を滑るのはどうかと頭の中をかすめる。あのときは無茶苦茶快適だったが今回はかなり藪が濃いだろう。でも滑れないことはないのでは？ひょっとして結構快適に滑れるかも？と勝手に頭の中がポジティブシンキング！！こうなるともう我慢できずこの案をメンバーに話してみると、「まあ、消去法だね、仕方ないし・・・」といった感じで賛同を得て1100m付近まで車道を滑る。藪の斜面に身を投じて登る。そのうちいい斜面が現れる！！と思って150m位頑張って登った。その結果！！「それなりに疲れたし充実したね！！」「藪ラッセルのいい練習になったね！！」と皆さんもポジティブシンキング！！雪の少ない藪っぽいゲレンデを「オオゥー快適！！<さっきと比べれば>」とぶっ飛ばして藪に引っかかれることもなく今日も無事に下山した。

さあ、温泉と宴会、今日は秋田名物きりたんぽ鍋だ！！夕方になるとあれほど欲しかった雪がワサワサ降ってきた！！

■コースタイム

アルパこまくさ（7:45）～（9:20）車道～（10:45）8合目小屋（11:30）～（13:55）アルパこまくさ

■写真上　　8合目小屋到着！！

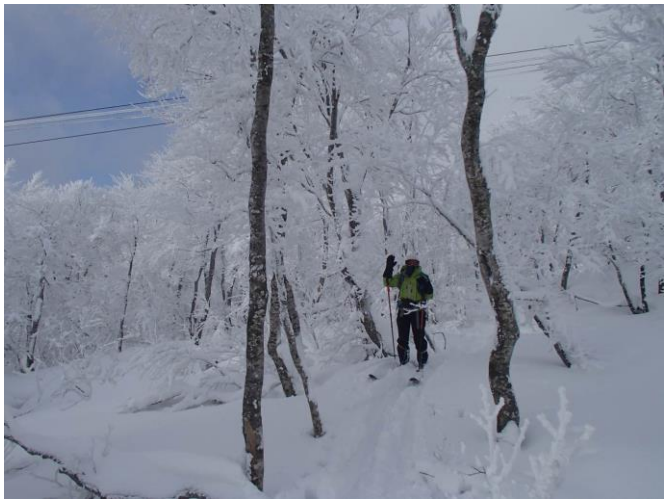
■写真中　　たまに男女岳方面もガスが切れる！！

■写真下　　森吉山のモンスター帯を登る。

12/31　　阿仁スキー場～森吉山

目が覚めると30cm以上雪が積もっていてまだワサワサと降っている。「この期に及んで今ですか！！今日は晴れて欲しいのに・・・。」

天候の回復を期待して6:00前に阿仁スキー場に向け出発。途中、コンビニで朝食を、と思っていたがどこまで行ってもコンビニはなく、結局、阿仁スキー場入口よりも10km程余計に走ってようやく「サンクス」を見つけた。そんなこんなで時間をロスしたがそれでも8:30には阿仁スキー場に到着。駐車代無料の良心的なスキー場だ。ゴンドラが8:45頃に動いたので（片道￥1,200）早速乗り込んで山頂駅まで行くが、辺りはガスで真っ白け。予報ではだんだ



ん晴れるということなのでレストルームで少し様子を見る。たまにパッと明るくなるのに一喜一憂して菓子などつまんでいたが痺れを切らしてガスガスの中を10:17出発する。

まずは、1308ｍピークを目指して尾根を登る。ガスさえ晴れてくれれば快適そうな尾根だ。1308ｍピークにはケルンがあってここで方向が変わる。ほぼ南方面に進むのだがこの辺り、傾斜もなく特徴もないので非常にわかりづらい。それでもコンパスを合わせて慎重に進むとラッキーなことに避難小屋にピタリと着けた。避難小屋は残念ながら入れなかったが、今日は風がないのが有難い。外で休んでもそれほど辛くはなかった。

さて、相変わらずガスガスの天気で森吉山に行くかどうか悩んだが、森吉山は私にとってまだ未踏峰で、時間もあるし、いざとなればＧＰＳもある。それにだんだん晴れるかも・・・？という期待もあって山頂を目指すことにする。ここからはますます視界が悪く、目を必死に開いて歩くが最初は登ってんだか下ってんだかよくわからない雪酔い状態だ。それでも傾斜が出てくれば、登って行けば必ず山頂に着くもんだ。視界ゼロの寒々しい山頂だったがそれでも初めての山頂は嬉しい。そういえば今回のツアーで初めて登ったピークだ。「うん、これはたしかに価値ある山頂だ！！間違いない。」と満足する。

さあ、さっさと降りよう！！といっても目を皿のように開いても凹凸が全く分からないので慎重に滑降する。それでも下りは早く避難小屋の手前まであっという間だ。ここから1308ｍピークまでは平坦でダラダラ長くシール歩行になる。であれば連瀬沢源頭に滑り込んでシールで1308ｍに登り返す作戦を採るのが正解だろうと連瀬沢に滑り込む。とはいっても連瀬沢源頭も傾斜がなくスキーはノロノロとしか進まない。しかしこんな天気だからノロノロは大歓迎だ。標高差で50ｍも滑っただろうか？沢床も傾斜がなくなったのでシールオンして1308ｍピークを目指す。ほんのひと登りで1308ｍの見覚えのあるケルンに到着。ここからはいくらか視界があり少し楽しめた。ホイホイ滑って行くと間もなくゴンドラ終点。ここからスキー場を滑ったが遅ればせながら天候回復！！遅せーんだよ！！と思いつつも人が少なく雪質の良いゲレンデは思いのほか快適で一気に快速運転。長ーいゲレンデも滑ればあっという間。無事ツアーを終了した。

■写真上　　避難小屋見っけ！！
■写真中　　今回最初で最後のピーク森吉山登頂！！
■写真下　　ゲレンデまで下りてきたらようやく晴れてきた。

森吉山は視界さえあれば、上部には傾斜は緩いが滑りが楽しめる斜面がたくさんありきっと初級者でも楽しいツアーが楽しめると思います。ロケーションも良いしゴンドラで簡単にアプローチできるので次回

■写真　　雪質の良いゲレンデを快適に滑降する。

はぜひ晴れたときに再訪してみたいものです。

　さて今日で，私はメンバーと別れて帰京。田沢湖駅まで送ってもらい，餞別までいただいて新幹線で楽々帰京。おかげで楽しい3日間を過ごすことができました。

　今回は雪不足、悪天候！！というほどではないが絶好の天気とは言えない天候など、条件的にはそれ程よくはなかったがそれでも年末の山スキーはこんなもんでしょう。良いメンバーといい宿、温泉に恵まれて楽しい3日間を過ごすことができました。2017年もよろしくお願いいたします。

■コースタイム

ゴンドラ終点（10:17）～（11:24）避難小屋（11:45）～（12:25）森吉山～（14:05）ゴンドラ終点～（14:25）ゴンドラ乗り場